

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和2年度 第2期（オンライン研修）

「指揮統制」コース

【各講義の内容と学習目標】

受講期間 オンデマンド：R3年2月15日（月）～2月28日（日）
リアルタイム：3月4日（木）13:00～16:30頃

手法	No.	単元名	単元の概要	No.	時間	講師名	学習目標
オンライン 講義	1	指揮統制総論 (世界標準に則した指揮統制)	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	1	59	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 組織のリーダーが果たすべき責務を説明できる。 危機にあたって組織のリーダーが行う業務を説明できる。 効果的な危機対応のための対応手法を説明できる。
	2	指揮統制の世界標準 (危機対応に必要となる役割（部門）と機能)	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学ぶ。	2	49	秋富 慎司 (医鳳会)	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者の機能と役割について説明できる。 事態対処の役割と機能について説明できる。 対策立案の機能と役割について説明できる。 後方支援の機能と役割について説明できる。 総務の機能と役割について説明できる。
	3	指揮統制の現状	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	3	40	原田 啓介 (大分県日田市)	<ul style="list-style-type: none"> 経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
	4	日本社会に適した指揮統制のあり方 (危機対応組織を動かす6つの視点と14の原則)	危機対応の世界標準に則して災害対策本部の統制のあり方を学ぶ。	4	60	熊丸 由布治 (ペアーズプランニング、日本防災デザイン)	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の世界標準について説明できる。 指揮統制を適用する場面について説明できる。 危機対応の6つの視点について説明できる。 教育・訓練の重要性について説明できる。
	5	リーダーシップのあり方	リーダーシップの考え方と指揮統制を行うための要求事項を学ぶ。	5	60	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップの基本的な考え方を説明できる。 リーダーに求められる役割について説明できる。 災害対応時に求められるリーダー像を説明できる。
	6	参謀にとっての災害対策本部運営	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	6	60	越野 修三 (岩手大学)	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の組織について説明できる。 参謀組織の構築について説明できる。 情報の処理と状況判断について説明できる。 部局横断的な実施体制の整備について説明できる。 指揮の実行について説明できる。
	7	災害広報演習	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者等にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	7-1	36	高島 哲夫 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の行政機関による広報の内容・方法等を説明できる。 災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。
オンライン 演習	8	災害広報演習		7-2	56	木戸 崇之 (朝日放送テレビ)	
	9	全体討論		7-3	7	辻岡 綾 (同志社大学)	
オンライン 演習	8	災害広報演習	防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	8		高島 哲夫 (防災科学技術研究所) 木戸 崇之 (朝日放送テレビ) 辻岡 綾 (同志社大学)	
	9	全体討論		9		林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。